株式会社グローバー

【環境経営レポート】

対象期間：2023年4月～2024年3月

発行日：2024年8月31日

目次

1. 会社概要

2. 対象範囲

3. エコアクション21 組織図

4. 許可証、登録証一覧等

5. 環境経営方針

6. 環境経営目標

7. 環境経営目標の実績

8. 活動計画・取組結果と評価、今後の取組内容

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、

訴訟等の有無

10. 代表者よる全体評価と見直し・指示

1. 会社概要

(1)　対象組織

① 事業所名

株式会社グローバー

② 代表者

代表取締役 平田 勝治

③ 環境管理責任者 森脇 勇記

TEL:048-954-7635 FAX:048-954-7636

e-mail:y_moriwaki@globar.co.jp

環境管理事務局

岩田 久宜（2024 年4月～）

TEL:03-3527-1020 FAX:03-3527-1021

e-mail:h_iwata @globar.co.jp

④ 所在地

本社　　東京都千代田区神田東松下町 13 番地　神田プラザビル 2F

三郷事業所　埼玉県三郷市鷹野 2 丁目 408 番地 1

※2015 年 2 月 27 日より本社を東京都千代田区に移転した。

(2)　主な事業内容

グリストラップ清掃事業、排水管清掃、給排気系統清掃

害虫駆除、産業廃棄物収集運搬業、水回り緊急対応作業

事業規模

① 創業 2005 年 廃棄物収集運搬は 2005 年 1 月 14 日より開始

② 売上高 27億 6,817 万（2023年4月～2024年3月）

③ 資本金 1,000 万円

④ 従業員数 110人（2024年3月末時点）

⑤ 述べ床面積 474.63㎡（本社） ※本社人員増により面積拡大

142.02 ㎡(三郷事業所)

⑥ 収集運搬の実績等

・収集運搬の実績 2,326.57t（2023年4月～2024年3月）

・収集運搬料金 種類、数量、排出場所や状況により異なります。

また、見積りは無料で御見積り致します。

2. 対象範囲

①全組織・全活動：株式会社グローバー

②対象事業所：本社：東京都千代田区神田東松下町 13 番地 神田プラザビル2階

三郷事業所 ：埼玉県三郷市鷹野 2-408-1

③レポートの対象期間・発行日等

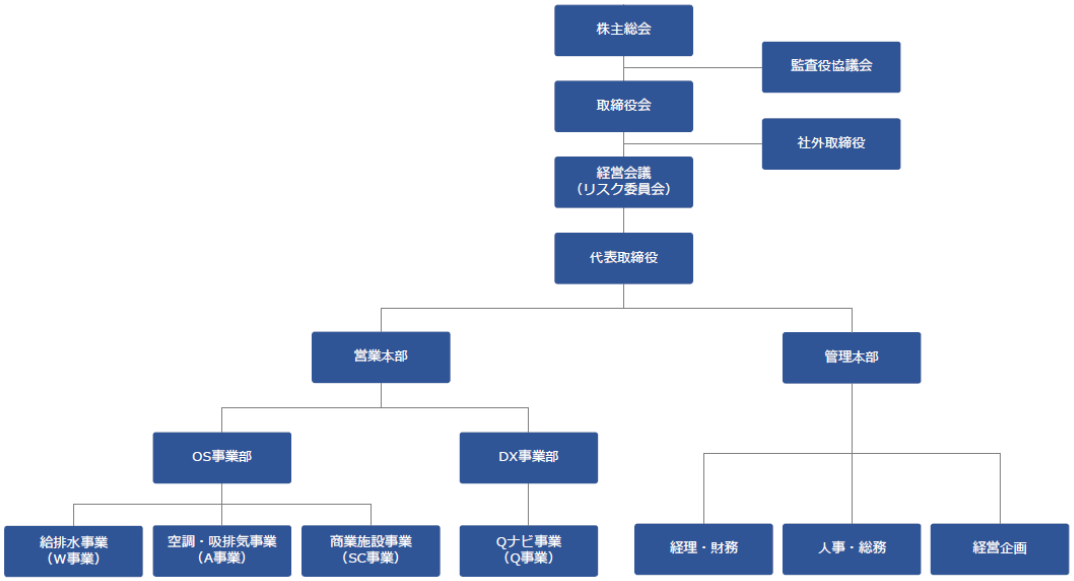
・環境活動レポートの対象期間：2023年 4 月 1 日～2024年 3 月 31 日

・環境活動レポートの発行日：2024年 8 月 31 日

【作業工程】

3. 会社組織図・エコアクション21組織図 ・役割等

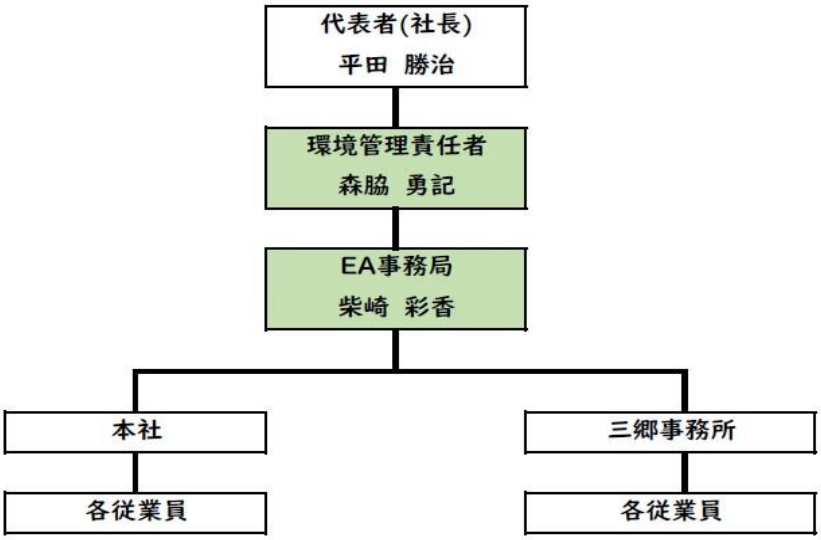
組織図



CONFIDENTIAL
Copyright © GlobaR. All Rights Reserved.

株式会社グローバー
エコアクション21組織図

作成日 2020/10/6
作成者 柴崎彩香



《役割、権限、責任》

代表者	・環境経営に関する統轄責任を担う。 ・環境経営システムに必要な資源の準備を行う。 ・経営上の課題とチャンスを明確にする。 ・環境方針の策定。 ・環境管理責任者の任命を行う。 ・全体の評価、見直しと継続的改善を行う。
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施等への推進を行う。 ・環境目標、環境活動計画、環境経営システム関連文書を経営者の承認を得て作成する。 ・環境目標、環境活動計画の推進、進捗確認を行う。
事務局	・環境目標、環境活動計画の推進、進捗確認を行う。 ・環境関連システム関連文書の保管、記録の収集管理を行う。 ・環境活動レポートの作成、公開。 ・環境関連外部コミュニケーションの窓口等を行う。
従業員	・環境方針の理解と取り組みの重要性を自覚する。 ・環境活動計画に定められた内容の実践行動を行う。

4. 許可証、登録証一覧等

（1）産業廃棄物処理業の許可

許可種類	許可者	許可番号	許可年月日	有効期限	産業廃棄物の種類
産業廃棄物収集運搬	東京都	第13-00-116904号	R2.3.22	R7.3.21	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、鉱さい、がれき類、ばいじん
	神奈川	01403116904	R2.4.7	R7.3.15	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ
	埼玉	01101116904	R2.4.24	R7.3.27	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ
	千葉	01200116904	R2.4.23	R7.3.31	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ
	栃木	00900116904	R2.4.7	R7.4.6	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ
	群馬	01000116904	R2.5.11	R7.5.10	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ
	茨城	00801116904	R2.7.21	R7.5.31	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ

(2)

・安全衛生推進者養成講習修了証

第 151118061 号

・安全運転管理者選任届出済証

第 L000142 号

・特別管理産業廃棄物処理業修了証

第 519001062 号

・甲種防火管理新規講習修了証

第 1207751 号

・東京都優良事業者認定証 産廃プロフェッショナル

4-19-D0091

・酸素欠乏危険作業主任者

（3）廃棄物収集運搬車両

車両情報一覧		
NO	車種	車番
1	清掃車	春日部　800　す　6503
2	清掃車	春日部　800　す　5628
3	清掃車	春日部　800　す　6073
4	清掃車	春日部　800　す　5811
5	清掃車	春日部　800　す　6263
6	バン	春日部　400　ち　9397
7	バン	春日部　400　つ　3760
8	バン	春日部　100　せ　1864
9	バン	春日部　400　つ　7761
10	バン	春日部　400　て　1689
11	バン	春日部　400　て　2618
12	バン	春日部　400　て　4886
13	バン	春日部　400　て　6924
14	バン	春日部　400　て　7988
15	バン	春日部　480　き　4673
16	バン	春日部 400 て 8665
17	バン	春日部 400 て 8979
18	バン	春日部400と456
19	バン	春日部400と1382
20	バン	春日部400と2320
21	バン	春日部400と2799
22	バン	春日部400と5047
23	バン	春日部400と5532
24	バン	春日部400と6633

5. 環境経営方針

環境経営方針

わが社の経営理念『この国の食文化を支える。』とし、社業を通してお取引先の三R活動に寄与してまいりました。これからもエコアクション21参画によりさらなる社員のレベルアップをはかり、循環型社会の形成に継続して努めてまいります。

一、　環境に関連する法規則・条例等と遵守し、環境配慮に努めます。

二、　環境負荷の低減になる車両の購入および資材、事務用品等のグリーン購入を推進することにより、環境に配慮した調達を進めます。

三、　エコドライブに努め、省エネルギーを推進します。

四、　廃棄物の削減・再利用活動に取組みます。

五、　環境にやさしい商品およびサービスを販売します。

六、　環境方針を全社員に周知徹底し、全員で環境への取組みを行います。

制定 平成23年11月1日

改定 令和5年4月1日

株式会社グローバー代表取締役　平田勝治

6. 環境経営目標

◎環境経営目標：中長期目標（2022年～2025年）

■合計■

取り扱い項目	単位	2022 年（基準年）	2023年	2024年	2025年
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	237,210	237,210	237,210	237,210
電気使用量	Kwh	68,803	68,803	68,803	68,803
水使用量	㎥	345	345	345	345
事務系一般廃棄物量	kg	52,047	52,047	52,047	52,047
グリーン購入	個	200	200	200	200
化学物質使用量	本社・三郷事業所ともに使用しておりません。				

■本社■

取り扱い項目	単位	2022 年（基準年）	2023年	2024年	2025年
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	17,185	17,185	17,185	17,185
電気使用量	Kwh	44,065	44,065	44,065	44,065
水使用量	㎥	199	199	199	199

■三郷■

取り扱い項目	単位	2022 年（基準年）	2023年	2024年	2025年
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	220,025	220,025	220,025	220,025
電気使用量	Kwh	24,738	24,738	24,738	24,738
都市ガス使用量	㎥	9.9	9.9	9.9	9.9
ガソリン使用量	L	45,334	45,334	45,334	45,334
軽油使用量	L	50,630	50,630	50,630	50,630
事業系一般廃棄物量	kg	52,047	52,047	52,047	52,047
水使用量	㎥	146	146	146	146

■環境サービス■

【汚泥の再利用の検討】汚泥の燃料化に関しては、
他社（TBM）との提携が難しい状況の為、次年度以降はグリストラップ契約件数増加を目標化とします。
【環境情報の発信】当社ホームページでの環境情報の発信
化学物質は使用がないので引続き把握管理する。

7. 環境経営目標の実績（2023年4月～2024年3月の目標と実績の比較）

■合計■

取組項目	単位	目標	実績	達成状況
二酸化炭素排出量	kg-CO2	237,210	259,237	×
電気使用量	**Kwh**	**68,803**	73,327	×
水使用量	**㎥**	**345**	364	×
事業系一般廃棄物量	**kg**	**52,047**	54,435	×
グリーン購入	**個**	**200**	225	○
化学物質の使用量	**本社・三郷事業所ともに使用しておりません。**			

■本社■

取組項目	単位	目標	実績	達成状況
二酸化炭素排出量	kg-CO2	17,185	18,441	×
電気使用量	**Kwh**	44,065	47,285	×
水使用量	**㎥**	199	223	×

■三郷■

取組項目	単位	目標	実績	達成状況
二酸化炭素排出量	**Kg-CO2**	220,025	240,796	×
電気使用量	**Kwh**	24,738	26,042	×
都市ガス使用量	**㎥**	9.9	11.0	×
ガソリン使用量	**L**	**45,334**	45,257	○
軽油使用量	**L**	**50,630**	47,944	○
事業系一般廃棄物量	**kg**	**52,047**	54,435	×
水使用量	**㎥**	**146**	141	○

※目標達成状況:○目標達成 ×目標未達成

・CO2 排出係数は、2022 年度東京電力エナジーパートナー㈱の調整後排出係数 0.390Kg-CO2/kWh を使用した。

8. 環境経営計画・取組結果と評価、今後の取組内容

環境活動計画	取組結果と評価	今後の取組内容
二酸化炭素排出量削減 2022年4月から2023年3月の基準値に対して現状維持が目標。 【目標達成手段】(電力) ・空調温度管理徹底 ・未使用機器の電源オフの徹底 ・冷暖房の使用台数の規制 【目標達成手段】(燃料) ・エコドライブの徹底 ・効率のいいルート作成 ・アイドリングストップ徹底	【全体】 会社全体の二酸化炭素排出量は目標値に対して9.3%増加になった。 【電力】 夏よりも冬場の使用量が多かったので、適切な温度で使用するよう周知する。 【燃料】 案件が約 10,000 件増加しており、前期より車両は1台増車しているが、効率的なルート、エコドライブの効果が出ている。	（本社・三郷） ・室温点検チェック表の記入・実践を周知・励行する。 ブラインドなどを活用し、エアコンの温度を高めに設定する。 ・使用していない部屋のエアコン・暖房はこまめに消す。 ・効率の良い作業ルートを再構築していく。 ・空調温度を徹底
廃棄物排出量削減 2022年4月から2023年3月の基準値に対して現状維持が目標。 【目標達成手段】 ・分別の徹底 ・ファイルの電子化、印刷物の削除 ・社内文書の裏紙使用の徹底	三郷事務所の廃棄物排出量は目標値に比べて4.6%増加となった。 案件数が増え、消耗品の廃棄物が増えた。裏紙も以前はリサイクル回収をしていたが、近場になくなってしまったので大量にシュレッダーをかけることになりその分廃棄物量が増えた。	・目標達成手段は継続 ・作業消耗品の見直しを実施する。 ・裏紙を使用することでコピー用紙の節約。
総排水量の削減 2022年4月から2023年3月の基準値に対して現状維持が目標。 【目標達成手段】 ・洗車用の水道に節水コマの取付 ・テプラによる節水意識の周知徹底	会社全体の総排水量は目標値に対し 5.5%増加となった。 本社は本年新卒・中途社員・アルバイトの増員の影響が考えられる。三郷は案件、車両ともに増加しているが、従業員の洗車時等における削減の効果がでた。	（本社・三郷） ・継続して実施する。

グリーンマーク、エコマーク表示製品の購入推進	積極的にグリーンマーク、エコマーク表示商品を購入した。	継続して実施する。
（環境サービス） 汚泥のリサイクル化 汚泥の再利用の検討 ホームページでの環境情報の発信	・汚泥の燃料化に関しては、公共機関ではなく、他社（TBM）と提携して汚泥の燃料の精製をした（三郷） ・ホームページでの環境情報の発信（本社）	・継続し実施する。
その他	特になし。	

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

【適用される法令等】［三郷事業所］

法律・条例名	規制内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の収集運搬	許可取得、適正処理
三郷市廃棄物の処理及び再利用並びにし現物持ち去り防止に関する条例	事業系一般廃棄物の処理	適正処理
浄化槽法	浄化槽の定期点検	定期点検の実施
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	第１種特定製品の管理 フロン漏洩時の報告	業務用エアコンの簡易点検の実施

【遵守状況等】

環境関連法規への違反はありません。なお。関係当局より違反等の指摘または環境に関する苦情は、過去３年以上ありません。

１０．代表者よる全体評価と見直し・指示

【環境経営方針について】

変更なしで継続

【環境経営目標及び環境経営計画については】

三郷事務所は現在も作業件数が増大している状況下において、
ガソリン・軽油については目標値の削減を達成することができた。
メンテ職が自社作業車のルートの見直しにより移動距離を効率化し、環境経営の意識が一定程度社員に根付いていると認識している。
神田オフィスは特に電気使用量の増大が激しい結果となった。
社員の増大とともに来客も増え、すべての部屋を使用し、エアコンの使用台数を減らすことができなかった。
一方で、オフィスカジュアルが浸透しており、夏はＴシャツなど薄手で、冬は厚手の服着用で過ごすことで室内の空調温度管理の徹底がしやすくなると期待している。
環境経営を実施していることを日常の業務の中で、従業員が意識できるよう教育指導を徹底していきたい。

変更なしで継続

【実施体制】

変更無しで継続